

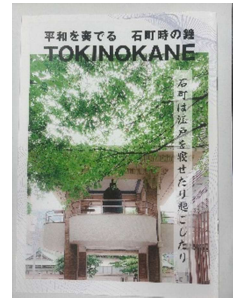
常盤だより

第 504 号
常盤小学校
常盤幼稚園

平和を奏でる 石町時の鐘

校長 浮津 健史

小伝馬町一の部町会 森会長のご厚意で、本校の全児童に十思公園にある鐘撞堂改修を記念して作成された題名にもある「平和を奏でる 石町時の鐘」という冊子をいただけることになりました。十思公園は、町会主催のイベントなどが行われ、本校の子どもたちも家族や友達と訪れる場所でもあり、そこにある時の鐘は多くの子供たちが見たことのあるものだと思います。皆さんもご存じのように、石町時の鐘（こくちょうときのかね）は江戸で最初に人々に時刻を伝えるために設置された鐘だと言われています。現在設置されている鐘は 1711 年に鑄造された 4 代目であり、蔦谷重三郎や葛飾北斎が江戸で生活していたころに鳴らされたものであることに驚きです。江戸時代の偉人たちは、鐘の音を聞きながらどんなことを考え、どんな夢を描いていたのでしょうか。冊子の中に載っている写真は本校卒業生の奥田様がお持ちのもので貴重な歴史資料であり、当時の様子も大変よくわかるものです。自分たちの近くに、江戸時代に実際に使われていたものがあることに驚くとともに、今日まで残すためにたくさんの地域の方々が努力されてきたのだと感じました。



また、この時の鐘は、8 月 15 日の終戦記念日と大みそかに鐘をつくことのできる機会があるということです。8 月 15 日には日本が二度と戦争を起こさない誓いと世界平和を願う気持ちを込めて地域の皆さんが鐘をつくとのことでした。そのことから表紙にある「平和を奏でる」という言葉が表されているということです。

戦後 80 年になり、戦争の悲惨な記憶がどんどん失われているとも言われています。戦争の記録や記憶を残すとともに、このように 8 月 15 日に鐘を鳴らすという直接の行動を通して、戦争のことをほんの少しでも考える機会になることはとても大切なことだと思います。

投げ方教室

体育主任

9 月 11 日（木）、12 日（金）に、2000 年シドニーオリンピック野球日本代表で、今年度の夏の甲子園決勝戦にて解説をされていた、飯塚 智弘様をお招きし、1 年生から 4 年生までを対象に、投げ方教室を行いました。飯塚様には、ボールを投げるまでの足の運び方、腕の動かし方、目線など、意識すべきところを細かくご指導いただきました。また、子どもたちは、ハンドタオルを使って正しく腕を振る感覚を掴むことができたようです。授業終了後に子どもからは、「もっとやりたい!」「楽しい!」などと声が上がっていました。

本校では、飯塚様に数年間にわたって、継続的にご指導をいただいています。飯塚様のご指導もあり、新体力テスト ソフトボール投げの本校全体の全国偏差値は、3 年前と比べて 4 ポイント以上も上昇しました。特に 6 年生の記録では、都平均と比べて、男子は約 6m、女子は約 4m も上回りました。校庭の広さは限られていますが、子どもたちが一生懸命に学習に取り組み、日々努力した結果だと思っています。今後も、投げる楽しさを味わいながら、子どもたちの投力が向上していけるよう、指導を続けていきます。

